

Z06 060 T66
MT T66 07 26

(1)

学習と術

(もう教育研究会消滅会に於ける演説)

一九六六、七月二十六日、山梨会館

教育のむつかしさ——大石流から学ぶ——学習と術へ
関心とむつかしさ(創造的)——二六頁以下——
またハンディキャップの下に、青年が筆ほど、教育するもの
世界が広がる——目が見えない——耳が聞えない——ものが
言えない——いろいろなハンディキャップのある人を教育する
ものむつかしい——しかしそれだけ、より豊かになる

021-140-020-010
[Z06 060 T66-1 (MT)]

(2)

ひもあち——そして、⁵ 観望とは、木田が赤城から大
人になつてゆく過程において、ほつておいたの、その身に
つかひい知識をあたへ、ほつておいたの、その身に
い能力を周知すること、¹⁰ である——¹⁵ 観望のハンディキャ
ップを、もつてい、ち、あ、い、は、に、対、して、は、²⁰ 観望はより一
層、²⁵ 観望の意義、³⁰ 観望の持つ、³⁵ 観望の持つ、⁴⁰ 観望の持つ、⁴⁵ 観望の持つ、⁵⁰ 観望の持つ、⁵⁵ 観望の持つ、⁶⁰ 観望の持つ、⁶⁵ 観望の持つ、⁷⁰ 観望の持つ、⁷⁵ 観望の持つ、⁸⁰ 観望の持つ、⁸⁵ 観望の持つ、⁹⁰ 観望の持つ、⁹⁵ 観望の持つ、¹⁰⁰ 観望の持つ、¹⁰⁵ 観望の持つ、¹¹⁰ 観望の持つ、¹¹⁵ 観望の持つ、¹²⁰ 観望の持つ、¹²⁵ 観望の持つ、¹³⁰ 観望の持つ、¹³⁵ 観望の持つ、¹⁴⁰ 観望の持つ、¹⁴⁵ 観望の持つ、¹⁵⁰ 観望の持つ、¹⁵⁵ 観望の持つ、¹⁶⁰ 観望の持つ、¹⁶⁵ 観望の持つ、¹⁷⁰ 観望の持つ、¹⁷⁵ 観望の持つ、¹⁸⁰ 観望の持つ、¹⁸⁵ 観望の持つ、¹⁹⁰ 観望の持つ、¹⁹⁵ 観望の持つ、²⁰⁰ 観望の持つ、²⁰⁵ 観望の持つ、²¹⁰ 観望の持つ、²¹⁵ 観望の持つ、²²⁰ 観望の持つ、²²⁵ 観望の持つ、²³⁰ 観望の持つ、²³⁵ 観望の持つ、²⁴⁰ 観望の持つ、²⁴⁵ 観望の持つ、²⁵⁰ 観望の持つ、²⁵⁵ 観望の持つ、²⁶⁰ 観望の持つ、²⁶⁵ 観望の持つ、²⁷⁰ 観望の持つ、²⁷⁵ 観望の持つ、²⁸⁰ 観望の持つ、²⁸⁵ 観望の持つ、²⁹⁰ 観望の持つ、²⁹⁵ 観望の持つ、³⁰⁰ 観望の持つ、³⁰⁵ 観望の持つ、³¹⁰ 観望の持つ、³¹⁵ 観望の持つ、³²⁰ 観望の持つ、³²⁵ 観望の持つ、³³⁰ 観望の持つ、³³⁵ 観望の持つ、³⁴⁰ 観望の持つ、³⁴⁵ 観望の持つ、³⁵⁰ 観望の持つ、³⁵⁵ 観望の持つ、³⁶⁰ 観望の持つ、³⁶⁵ 観望の持つ、³⁷⁰ 観望の持つ、³⁷⁵ 観望の持つ、³⁸⁰ 観望の持つ、³⁸⁵ 観望の持つ、³⁹⁰ 観望の持つ、³⁹⁵ 観望の持つ、⁴⁰⁰ 観望の持つ、

(3)

について、私の手紙を考えていることを少しお話しすべく
ういしかでさかい
私は頼有者であると同時に研有者でもある——
研有者であることになって、研有者でありうるとは
分けて考えている——という意味の研究における
体験は暗喩とする——
この意味で研有者が成立して
いるというところである——
研有者であるというが、
自身はかりでいい——
若少年が自分から出て
学習しようとする意欲がなければ、
研有者になんか
はい——
研有とは何か——
その人にとっては何かか

(4)

3
2
1
定めておられることは、
定めておられることは、

らしい知識、考え、技術、物のあつかい、
つけることである。——それができる準備ができていない
といかない。——あと、びにむつかしいことほど、
順序、鉛筆、下印、しかし、準備ができていない
ものに、意欲が足りず、
ゆえに、その意欲は同じこと、
とあるには、主観的にある、
に、人の、
よう、
いる、

5

10

15

20

(5)

——学習以外の活動で、学習をいかに促して
いる——学習とは非常に広い意味である——
学習意欲の研究等がいつかある——学習として
の概念——創造性発現の中心である(創造性の
人因——10——以下)——教育は教育を言っているが、
非常に広い意味で、何らかの形で創造性を発現
させ、それを広げたい。そのものでもある——
しかし、教育の人因をいかに促すかを創意的に
力を発揮してゆく過程でもある筈である——
創造性とは多面的に相対的である、創造性

